

山形市健康プラン2035 概要版

SDGsの
関連目標



1 計画の策定にあたって

(1) 計画策定の趣旨

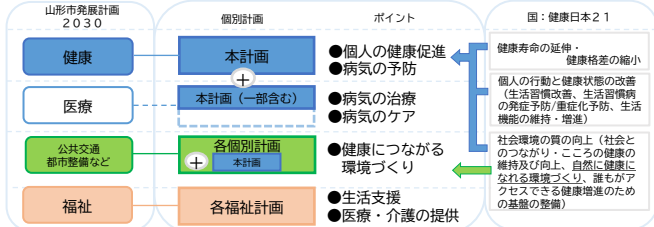
①目的(健康増進法第1条)

国民の健康の増進の総合的な推進に関し基本的な事項を定め、国民保健の向上を図る。

②市町村の役割(健康増進法第8条第2項)

国の基本的な方針を示した「健康日本21」等を勘案し、住民の健康の増進の推進に関する施策についての計画を定めるよう努める。

(2) 計画の位置づけ



①本計画の対象範囲は、健康増進法に基づき、健康の増進の推進に資する施策を基本とする。

②山形市発展計画2030との関連性は次のとおり。

・健康分野に係る施策を基本とし、特定健診やがん検診、山形市特有の健康課題の解決に資する医療分野施策を一部含む。

・健康日本21(第三次)における「自然に健康になれる環境づくり」に関連する公共交通や都市整備分野等に係る各種施策を一部含む。

・介護予防など、福祉分野に係る各種施策とも連携を図る。

(3) 計画期間

①令和7(2025)～17(2035)年度(11年間)とする。

②山形市発展計画の改定の時期に合わせて令和11(2029)年度に中間評価を実施。

(4) 計画策定の考え方

①国による「健康日本21」等の基本的な方向を踏まえた検証

②山形市のこれまでの取組に関する検証

A 第2次健康づくり計画(平成25(2013)年度～)

B SUKSK生活の推進(令和元(2019)年度～)

C シンクタンクによる分析(令和元(2019)年度～)

保健所設置以降の成果と課題の検証

③バックカスティングによる視点を踏まえた検証

2 国による「健康日本21」等の基本的な方向を踏まえた検証

(1) 健康寿命の延伸・健康格差の縮小

生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防・重症化予防、社会環境の質の向上等によって健康寿命の延伸を目指すことは、健康づくりを推進するに当たり、引き続き最も重要な課題。

健康寿命の延伸により、個人の生活の質の低下を防ぎ、社会保障費負担の軽減も期待できる。

(2) 個人の行動と健康状態の改善

健康寿命の延伸には、生活習慣の改善や望ましい生活習慣の定着による生活習慣病の発症予防や重症化予防が重要。

(3) 社会環境の質の向上

健康寿命の延伸には、社会とのつながりや心の健康の維持及び向上を図ることに加え、健康に関心が薄い人も含む幅広い対象に向けた健康づくりを推進するため、自然に健康になる環境づくりの取組が重要。

(4) ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

現在の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性や次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があり、女性や子ども等に関する施策において、胎児期から高齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉えた健康づくり(ライフコースアプローチ)の観点を取り入れることが重要。

3 山形市のこれまでの取組に関する検証

A 第2次健康づくり計画(平成25(2013)年度～)

①「健康医療先進都市」のビジョンを掲げ、健康寿命の延伸に向けた取組を推進。

②市民の健康寿命を損なう主な原因が認知症、運動器疾患、脳血管疾患(三大原因)であることが明らかになった。

③三大原因の発症リスク低減には、生活習慣病の予防が極めて重要であることから、令和元(2019)年より、食事(S)、運動(U)、休養(K)、社会参加(S)、禁煙・受動喫煙防止(K)に留意する「SUKSK生活」を独自に提唱し、本市の健康施策の基本軸に据えて各種施策に取り組んできた。

【健康寿命と平均寿命】



健康な状態を「日常生活動作が自立している」とし規定し、厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて、介護保険データから「要介護2以上」を「不健康」、それ以外を「健康」と定義し、健康寿命と平均寿命を独自に算出

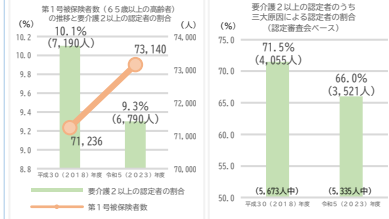
コロナ禍を経て平均寿命は延び、それを上回る健康寿命の延びがあったため、日常生活に制限のある不健康な期間(平均寿命と健康寿命の差)も縮小。

【取組を踏まえた課題】

I 肥満傾向の市民の増加	II 健診等受診率の伸び悩み
III 肥満傾向と栄養不良の児童・生徒の増加	IV 不登校児童・生徒の増加

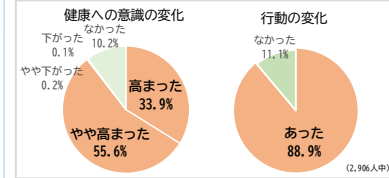
B SUKSK生活の推進(令和元(2019)年度～)

【第1号被保険者数の推移と要介護2以上の認定者の割合、要介護2以上の認定者のうち三大原因による認定者の割合(認定者調査ベース)】



平成30年度末、令和5年度末時点における「要介護・要支援認定者の主要疾病の分布状況(介護度別・年齢別)」及び「要介護度別認定者数の推移」より算出

【健康ポイント事業SUKSK利用者の変化】



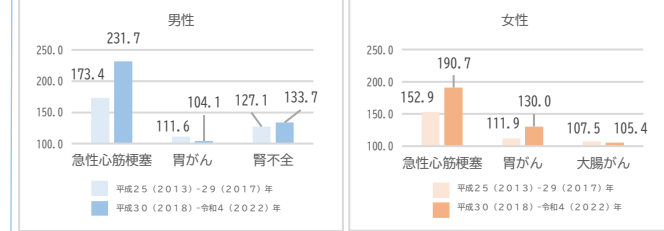
出典:令和5年度SUKSKアプリ登録者アンケート結果

【市民の介護が必要になった疾患の推移(要介護2以上の原因)】

		1位	2位	3位	4位	5位
総数	平成29(2017)年度(5,878人中)	認知症 41.5%	脳血管疾患 17.8%	運動器疾患 15.9%	悪性腫瘍 5.8%	心疾患 3.6%
	令和5(2023)年度(5,464人中)	認知症 35.0%	運動器疾患 15.4%	脳血管疾患 14.0%	悪性腫瘍 7.9%	心疾患 5.8%
男性	平成29(2017)年度(1,954人中)	認知症 30.6%	脳血管疾患 24.4%	運動器疾患 11.0%	悪性腫瘍 9.8%	心疾患 4.2%
	令和5(2023)年度(1,984人中)	認知症 27.4%	脳血管疾患 18.1%	悪性腫瘍 11.9%	運動器疾患 10.3%	心疾患 7.2%
女性	平成29(2017)年度(3,924人中)	認知症 47.0%	運動器疾患 18.3%	脳血管疾患 14.6%	悪性腫瘍 3.8%	心疾患 3.3%
	令和5(2023)年度(3,480人中)	認知症 39.4%	運動器疾患 18.3%	脳血管疾患 11.7%	悪性腫瘍 5.6%	心疾患 5.1%

平成29年度末、令和5年度末時点における要介護・要支援認定者の主要疾病の分布状況(介護度別・年齢別)より算出

【死因別標準化死亡比(※)の変化】 ※全国平均を1.0とし、山形市の死亡率が全国平均と比べてどれくらい高いかを示す指標



出典:平成30～令和4年 人口動態推測・市区町村別統計 人口動態統計特別報告 標準化死亡比(ベース推定値)、主要死因・性・都道府県・保健所・市区町村別、平成25～平成29年 人口動態推測・市区町村別統計 人口動態統計特別報告 標準化死亡比(ベース推定値)、主要死因・性・都道府県・保健所・市区町村別

【取組を踏まえた課題】

- I 要介護2以上となる原因疾患の上位のうち、男性の悪性腫瘍の割合が増加し、女性の運動器疾患の割合に改善が見られない
- II 急性心筋梗塞、胃がんなどの標準化死亡比が高い

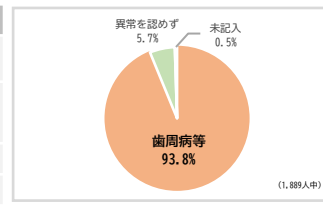
C シンクタンクによる分析(令和元(2019)年度～)

- ①令和元(2019)年より、医師、薬剤師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職で構成されたシンクタンクチームを設置。
- ②「歯周病」、「減塩」、「腹部肥満」、「フレイル」という4つのテーマで山形市民の健康に関するデータを分析。
- ③分析結果は、市民の健康寿命を損なう三大原因の予防に資する各種施策に活用。

【テーマと主な分析結果】

テーマ	主な分析結果
歯周病	歯周病の発見には、唾液潜血検査が有効(右図参照)
減塩	塩分チェックシートの点数が高いほど食塩摂取量が多く、高血圧症の予防には塩分を控えた食事が有効
腹部肥満	糖尿病の予防には肥満の解消が有効
フレイル	運動器疾患の予防には運動や社会参加が有効

【唾液潜血検査(※)陽性者の精密検査結果内訳】



※通常唾液に含まれることのない潜血を調べ、歯周病のリスクを判定する。出典:令和5年度シンクタンク研究結果

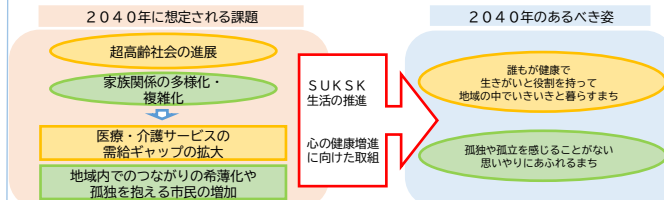
主に普及啓発・保健指導などに活用

【取組を踏まえた課題】

- I 収集するデータの拡充
- II 政策立案及び評価への活用推進

4 バックカスティングによる視点を踏まえた検証

令和22(2040)年には、「超高齢社会の進展」や「家族関係の多様化・複雑化」に伴い、「医療・介護サービスの需給ギャップの拡大」や「地域内でのつながりの希薄化や孤独を抱える市民の増加」などが懸念されるため、「SUKSK生活の推進」及び「心の健康増進に向けた取組」により、「誰もが健康で生きがいと役割を持って地域の中でいきいきと暮らすまち」及び「孤独や孤立を感じることがない思いやりにあふれるまち」を目指す。



国計画	健康日本21 ➡1～4の全て	
山形市特有の課題	A 第2次計画	I 肥満傾向の市民の増加 ➡1－（2）（4）（5）
		II 健診等受診率の伸び悩み ➡2－（1）（2）
		III 肥満傾向と栄養不良の児童・生徒の増加 ➡1－（4）、1－（5）、4－（2）
		IV 不登校児童・生徒の増加 ➡1－（6）、4－（2）
	B SUKSK生活	I 要介護2以上となる原因疾患の上位のうち、男性の悪性腫瘍の割合が増加し、女性の運動器疾患の割合に改善が見られない ➡1－（5）、2－（1）
		II 急性心筋梗塞、胃がんなどの標準化死亡比が高い ➡1及び2の全て、3－（3）
	C シンクタンク	I 収集するデータの拡充 ➡3－（1）
		II 政策立案及び評価への活用 ➡3－（2）
バックキャストिंग	医療・介護サービスの需給ギャップの拡大 ➡1の全て 地域内でのつながりの希薄化や孤独を抱える市民の増加 ➡1－（6）（7）	

基本理念	未来から描く 一人ひとりがいきいきと元気に暮らすまち 健康医療先進都市 山形	
基本施策	施策	主な具体的取組
1 SUKSK生活の推進	（1）SUKSK生活の更なる浸透に向けた周知啓発	（主）SUKSK生活推進事業（健康ポイント事業SUKSK・SUKSK生活推進のための周知啓発） 【拡充】 、（主）「山形コホート研究」を活かした健康づくり事業（山形大学との共催によるシンポジウム開催）、SUKSK生活出前講座の開催
	（2）アプリを活用した市民の自発的な健康づくり活動の促進	（主）SUKSK生活推進事業（健康ポイント事業SUKSK・健康ポイント事業SUKSKのAI健康アドバイスサービス） 【拡充】 、（主）「山形コホート研究」を活かした健康づくり事業
	（3）歯周病の予防に向けた予防歯科の推進	（主）予防歯科推進事業（歯周疾患検診・唾液検査による歯周病検診） 【拡充】 、（主）地域歯科保健推進事業 【新規】 、乳幼児健康診査事業、「8020運動」事業費補助事業
	（4）健康増進に向けた食生活の改善に関する理解と実践	（主）SUKSK生活推進事業（SUKSKメニュー認定事業） 【拡充】 、（主）SUKSK減塩推進事業 【拡充】 （推定食塩摂取量検査・SUKSKレシピ集の普及・啓発）、（主）食育・地産地消推進事業、（主）学校給食をとおした食育推進事業、SUKSK給食の実施
	（5）適度な身体活動・運動の推進と運動器疾患に関する予防の促進	（主）SUKSK生活推進事業（健康ポイント事業SUKSK・ウォーキングマップの作成・SUKSKスクールの開催） 【拡充】 、（主）健康増進ウォーキングロード及びサイクリングロード整備事業、（主）山形市民スポーツフェスタ開催事業、（主）山形まるごとマラソン大会開催事業、（主）児童遊園への健康器具等設置事業、（主）介護予防・日常生活支援総合事業（いきいき百歳体操）
	（6）心の健康と休養の促進	（主）SUKSK生活推進事業 【拡充】 、（主）こころの健康推進事業（自殺対策SNS等相談の推進・児童生徒のSOSの出し方教育等）、（主）ひきこもり生活者支援事業（つながりよりそいチャット）、こころを支えるサポーター養成講座、こころの健康相談、依存症に関する普及啓発
	（7）地域における健康づくり活動と社会参加の促進	（主）聴こえくつきり事業 【拡充】 、（主）介護予防・日常生活支援総合事業（いきいき百歳体操）、（主）地域コミュニティ活性化推進事業、（主）いきいき地域づくり支援事業、（主）町内会等除排雪対策事業
	（8）企業等と連携した健康経営の促進 【新規】	（主）SUKSK生活推進事業（健康ポイント事業SUKSK・健康経営促進事業） 【拡充】 、SUKSK生活出前講座の開催、働きやすい職場環境づくりの推進
	（9）がん等の予防に向けた禁煙及び受動喫煙の防止	（主）SUKSK生活推進事業（受動喫煙防止対策の推進） 【拡充】 、（主）「山形コホート研究」を活かした健康づくり事業、路上禁煙マナーストリート事業、喫煙とCOPDに関する周知啓発
2 疾病の早期発見と重症化予防	（1）特定健診・がん検診等による疾病の早期発見の推進	（主）がん検診等推進事業（子宮頸がん・乳がん検診等への無料クーポン券の交付）、（主）後期高齢者の保健・介護予防事業、特定健診・がん検診等事業
	（2）健診等事務のDX化による利便性の向上 【新規】	（主）住民健診Web予約システム等導入事業（健診等事務のDX化及び健診体制の見直し） 【新規】 、健康管理システム構築・運用事業
3 健康寿命の延伸に向けた環境整備	（3）疾病対策の推進	（主）済生館地域医療連携推進事業、（主）24時間健康・医療相談サービス事業、（主）重粒子線がん治療費助成事業、休日夜間の救急医療体制の構築、がん等疾病の相談支援
	（4）治療と社会復帰の両立に向けた支援の充実	（主）がん患者医療用ウィッグ・乳房補整具購入費助成事業、がん外見ケアセミナーの推進
	（1）EBPMの推進に向けた各種データの収集と適切な管理運用 【新規】	（主）SUKSK生活推進事業（健康ポイント事業SUKSKのAI健康アドバイスサービスを活用したデータ収集） 【拡充】 、（主）SUKSK減塩推進事業（推定食塩摂取量検査） 【拡充】 、（主）「山形コホート研究」を活かした健康づくり事業、健康管理システム構築・運用事業
4 ライフワーク・ライフスタイルを踏まえた女性と子どもを健康増進	（2）EBPMの推進に向けた調査分析の強化 【新規】	（主）「山形コホート研究」を活かした健康づくり事業、シンクタンクによる調査研究、企業等との連携の推進
	（3）健康づくりに向けた環境整備 【新規】	（主）公共交通通行事業、（主）市民会館整備運営事業、（主）粋七エリア整備事業、（主）中心市街地歩行者空間創出等事業、（主）雪につよい消雪道路整備事業、（主）道路除排雪事業、（主）健康増進ウォーキングロード及びサイクリングロード整備事業、（主）屋外スケート場整備事業、（主）住宅リフォーム総合支援事業、（主）建築物遮熱・断熱対策補助事業
	（1）女性の健康支援 【新規】	（主）困難な問題を抱える女性への支援事業、（主）女性の健康づくり支援事業、（主）がん検診等推進事業（子宮頸がん・乳がん検診等への無料クーポン券の交付）、女性の健康支援事業（プレコンセプションケアの推進）、特定健診・がん検診等事業（レディース健診・子宮がん検診・乳がん検診）、乳幼児等予防接種事業（子宮頸がんワクチン）
	（2）子どもの健康支援 【新規】	（主）市立学校熱中症対策事業 【拡充】 、（主）こころの健康推進事業（児童生徒のSOSの出し方教育）、（主）新生児聴覚検査助成事業、（主）未熟児養育医療給付事業、（主）小児慢性特定疾病医療支援事業、（主）結核児童療養給付事業、（主）こども医療給付事業、（主）1か月児健康診査事業、（主）5歳児健康診査事業
	（3）結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援	（主）妊娠出産に向けた健康づくり支援事業 【新規】 、（主）社会全体で子育てする機運醸成事業、（主）妊婦健康診査事業、（主）妊婦歯科健康診査事業、（主）出産・子育て応援事業、（主）育児支援家庭訪問事業、（主）産後ケア事業、（主）親子健やか医療給付事業、（主）不妊治療（先進医療）費助成事業、（主）不育症検査費用助成事業、（主）支援対象児童等見守り強化事業（おやこよりそいチャットやまがた）

重要指標	
基本施策1 健康寿命	
現状値 【令和5（2023）年度】	男性 80.70歳 女性 85.07歳
中間評価 【令和10（2028）年度】	男性 81.33歳 女性 85.11歳
最終評価 【令和14（2032）年度】	男性 81.95歳 女性 85.24歳
基本施策2 胃がんの標準化死亡率	
現状値 【令和5（2023）年度】	男性 104.1 女性 130.0
中間評価 【令和10（2028）年度】	男女ともに 100.0以下
最終評価 【令和14（2032）年度】	男女ともに 100.0以下
基本施策3 シンクタンクの研究数（令和元年度からの累計）	
現状値 【令和5（2023）年度】	15
中間評価 【令和10（2028）年度】	45
最終評価 【令和14（2032）年度】	70
基本施策4 要介護2以上の認定者のうち、要介護となった原因疾患が運動器疾患である女性の人数	
現状値 【令和5（2023）年度】	638人
中間評価 【令和10（2028）年度】	550人
最終評価 【令和14（2032）年度】	500人

（主）：山形市発展計画2030に掲げられている主要事業

※数値は、当該年度で把握可能な最新値とする。

7 推進体制

（1）施策を推進するための視点（横ぐし）

- ①DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 … 市民ニーズや利便性の向上を見据えた健康医療分野等におけるDX化を推進。
- ②部局横断的な取組 … 市民の健康増進に資する事業を市全体で効果的に実施することを目的に、関係各課で構成された「『健康医療先進都市』推進プロジェクトチーム」を設置し、チームには保健所内に設置したシンクタンクが含まれている。「『健康医療先進都市』推進プロジェクトチーム」及びシンクタンク（右図参照）では、健康寿命の延伸に向けた政策の推進や関連事業の評価、改善に向けた提案を行う。

（2）山形市健康医療先進都市推進協議会の報告・進捗管理

医療、福祉、地域、産業、教育の関係団体の代表及び学識経験者等で構成する「山形市健康医療先進都市推進協議会」（右図参照）に毎年度報告のうえ各取組の進捗管理を行う。

また、本計画を着実に推進するため、シンクタンクにおける調査分析を活用しながらPDCAサイクルに基づき計画の進捗管理を行う。

